

セクション	旧形式 (今まで)	2026年新形式 (変更後)	『極めろ! TOEFL iBT® テスト 第2版』シリーズ で対策できること
Reading	<ul style="list-style-type: none"> <li>Academic (アカデミックな文章を読む) : 約700語のアカデミックな文章を読んで設問に答える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Complete the Words(単語を完成させる) : 約70~100語のアカデミックな文章の一部の単語を埋める</li> <li>Read in Daily (日常生活に関する文章を読む) : 約15~150語の日常的な内容の文章を読んで設問に答える</li> <li>Read in Academic Passage(アカデミックな文章を読む) : 約200語のアカデミックな文章を読んで設問に答える</li> </ul>	<p>問題形式は変更されましたが、TOEFL的なトピックやアカデミックな文章を読むことができるものとしてご利用いただけます。新形式のRead in Academic Passageは旧形式よりも文章量が減ったため、旧形式の分量での練習は負荷が大きいです。良いトレーニングになります。</p>
	<p>問題数: 20問 (1パッセージ10問×2) 時間: 35分</p>	<p>問題数: 最大50問 時間: 最大30分</p>	<p><b>対策/伸ばせる英語力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読解力 (主旨・推論・語彙・指示語・言い換え)</li> <li>選択肢処理能力 (消去法、根拠箇所の特定)</li> </ul>
Listening	<ul style="list-style-type: none"> <li>Academic (大学の講義) : 約500~800語の内容の講義を聞いて設問に答える</li> <li>Academic (大学生活に関する会話) : 約500~800語の会話を聞いて設問に答える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Listen and Choose a Response (音声を聞いて応答を選ぶ) : 短いやり取りの質問や発言に対して適切な応答を選ぶ</li> <li>Listen to a Conversation (日常的な会話を聞く) : 会話を聞いて、それに関する回答を選ぶ</li> <li>Listen to an Announcement (アナウンスを聞く) : 約40~85語でできたアカデミックな内容のアナウンスを聞いて、それに対する回答を選ぶ</li> <li>Listen to an Academic Talk (アカデミックな講義を聞く) : 約100~250語で構成されたアカデミックな講義を聞いて、それに対する回答を選ぶ</li> </ul>	<p>問題形式は変更されましたが、TOEFL的なアカデミックな内容のトピックや講義を聞くことができるものとしてご利用いただけます。新形式のAnnouncementで扱うトピックは、旧形式の大学生活に関する会話と共通する点も多くございます。また、Listen to an Academic Talkは旧形式よりも文章量が減ったため、本書の分量を読むことは良いトレーニングになります。</p>
	<p>問題数: 28問 (講義3題 各6問、会話2題 各5問) 時間: 36分</p>	<p>問題数: 最大47問 時間: 最大29分</p>	<p><b>対策/伸ばせる英語力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話・講義の要点把握、推論、話者意図の聴き取り</li> <li>選択肢の言い換え理解</li> </ul>
Writing	<ul style="list-style-type: none"> <li>Integrated task 1問: リーディング・リスニング・ライティングの統合型/要約を書く</li> <li>Academic Discussion task 1問: 講師の質問、他の学生の意見を踏まえて、自分の意見を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Build a Sentence (文を作る) : 語・句を並べ替えて、適切な文を作る (10問)</li> <li>Write an Email (メールを書く) : 与えられた設定に応じたメールを書く</li> <li>Write for an Academic Discussion (アカデミックなディスカッションのために文章を書く) : 与えられたテーマについて、他の学生の意見を踏まえて、自分の意見を書く</li> </ul>	<p>問題形式は変更されましたが、TOEFL的なアカデミックなトピックを取り扱っており、新形式のWrite for an Academic Discussionは、旧形式のAcademic Discussion taskと同じ形式ですので、その対策としてご利用いただけます。</p>
	<p>問題数: 2問 時間: 29分</p>	<p>問題数: 最大12問 時間: 最大23分</p>	<p><b>対策/伸ばせる英語力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい英語を書く力</li> <li>相手に伝わるように書く力</li> </ul>
Speaking	<ul style="list-style-type: none"> <li>Independent task 1問: 学生の身近なトピックについて意見を述べる</li> <li>Integrated task 2問: リーディング・リスニング・スピーキングの統合形式の問題</li> <li>Integrated task 1問: リスニング・スピーキングの統合形式の問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Listen and Repeat (聞いて繰り返す) : 文が読まれた後にそのままそれを繰り返す</li> <li>Take an Interview (インタビューを受ける) : インタビュアーの質問に対して、自分の意見や経験などを話す</li> </ul>	<p>問題形式は変更されましたが、TOEFL的なアカデミックなトピックを取り扱っており、発話力を鍛えるものとしてご利用いただけます。旧形式の問題に対応できる発話力を付けることができれば、新形式のTake an Interviewにも十分対応できる力を身に付けることができます。</p>
	<p>問題数: 4問 時間: 16分</p>	<p>問題数: 最大11問 時間: 最大8分</p>	<p><b>対策/伸ばせる英語力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発音の明瞭さ、流暢さ、制限時間内で話す力</li> <li>旧形式のIndependent Taskの「自分の経験・意見を短く述べる」訓練➡ Interview問題を解く素地として役に立つ</li> </ul>

※出題順が、Reading / Listening / Speaking / Writing ➡ Reading / Listening / Writing / Speakingに変更。

※スコア表記が、0~120 (各セクション30満点×4) から、「1~6」の「バンドスコア方式」に変更。

(2026年1月21日から2年間は、対応する0~120の従来のスコアを併記)

TOEFL and TOEFL iBT are registered trademarks of ETS. This flier is not endorsed or approved by ETS.

2026年1月21日からのTOEFL iBT®

改訂に関する概要 (ETS発表)

<https://x.gd/Q06qP>

